



## 2021年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年3月10日

上場会社名 株式会社浜木綿 上場取引所 東・名  
 コード番号 7682 URL http://www.hamayuu.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 永芳  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役業務部長 (氏名) 三浦 祐明 (TEL) 052-832-0005  
 四半期報告書提出予定日 2021年3月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から動画配信予定。)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年7月期第2四半期の業績(2020年8月1日~2021年1月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第2四半期	2,245	△19.4	△58	—	△53	—	△58	—
2020年7月期第2四半期	2,784	4.0	229	10.2	212	0.0	137	5.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年7月期第2四半期	△54.23		—					
2020年7月期第2四半期	152.69		—					

(注) 当社は、2019年8月6日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第2四半期	4,612	1,583	34.3
2020年7月期	4,912	1,678	34.2

(参考) 自己資本 2021年7月期第2四半期 1,583百万円 2020年7月期 1,678百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2021年7月期	—	0.00			
2021年7月期(予想)			—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年7月期の配当につきましては、現時点で業績の見通しが困難なため、未定とさせていただきます。

## 3. 2021年7月期の業績予想(2020年8月1日~2021年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年7月期の業績予想につきましては、現時点では合理的な算出が困難な状況にあるため、未定とさせていただきます。算出が可能になった段階で速やかに公表させていただきます。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年7月期2Q	1,072,200株	2020年7月期	1,072,200株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年7月期2Q	62株	2020年7月期	62株
------------	-----	----------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年7月期2Q	1,072,138株	2020年7月期2Q	900,885株
------------	------------	------------	----------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書	
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年8月1日から2021年1月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大するなか、国内の消費活動も冷え込み、景気は依然として足踏み状態が続きました。政府によるG o T oキャンペーン事業などの需要喚起策や中国を始めとする海外経済の回復もあり、一時持ち直しの動きが見られたものの、11月後半から国内の感染者数が大幅に増加し、1月には再び緊急事態宣言が発令され、一層不透明な状況となりました。

外食業界におきましては、第三波による感染拡大に伴い一部地域で営業時間短縮要請が出され、外食需要は大幅に落ち込むなど、引き続き厳しい状態が続いております。また、テイクアウトやデリバリーの需要が増加しているなか、同業者が多数参入しており、競争激化も懸念され、今後も予断を許さない状況にあります。

このような状況の中、当社におきましては、新型コロナウイルス感染症対策を最優先課題とし、ご来店いただくお客様に安心してお食事をお楽しみいただけるよう、引き続き衛生管理を徹底し、従業員一同、感染症拡大防止に最善を尽くしてまいりました。また、営業面では、テイクアウト商品の拡充・強化やWEB予約の導入、一部店舗においてデリバリーサービスをスタートするなど様々な販売施策を実施し、売上高の回復に努めました。これらの結果、「G o T oイート」の恩恵もあり、売上高は回復基調で推移しておりましたが、12月から大都市圏を中心に時短営業を余儀なくされ、繁忙期である年末年始の営業は宴会需要が激減するなど、大変厳しい状況となりました。

店舗展開につきましては、当第2四半期累計期間において新規出店及び業態変更は実施していないため、当第2四半期累計期間末現在の店舗数は、「浜木綿」32店舗、「四季亭」3店舗、「桃李蹊」7店舗、「メンヤム」1店舗の合計43店舗(すべて直営店)となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は2,245百万円(前年同期比19.4%減)、営業損失は58百万円(前年同期は営業利益229百万円)、経常損失は53百万円(前年同期は経常利益212百万円)となり、四半期純損失は58百万円(前年同期は四半期純利益137百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ223百万円減少し、2,070百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,206百万円減少した一方、有価証券が1,000百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ76百万円減少し、2,541百万円となりました。これは主に建物が47百万円、リース資産が21百万円減少したことによるものであります。

##### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ1百万円減少し、1,072百万円となりました。これは主に賞与引当金が16百万円増加した一方、未払金が11百万円、買掛金が9百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ203百万円減少し、1,956百万円となりました。これは主に長期借入金が178百万円、リース債務が24百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ95百万円減少し、1,583百万円となりました。これは主に利益剰余金が95百万円減少したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は前事業年度末に比べ641百万円減少し、666百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は64百万円（前年同四半期は359百万円の増加）となりました。これは主に減価償却費104百万円、法人税等の還付額35百万円の増加要因及び、税引前四半期純損失53百万円、売上債権の増加64百万円の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は1,017百万円（前年同四半期は293百万円の減少）となりました。これは主に有価証券の取得による支出1,000百万円、有形固定資産の取得による支出22百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は250百万円（前年同四半期は592百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出184百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言が再び発令されるなど収束の見通しが立たない状況の下、現時点では業績に影響を与える不確定要素が多く、適正かつ合理的に算出することが困難であると判断し、2020年9月10日付「2020年7月期 決算短信[日本基準]（非連結）」において発表しました通り、引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な算出が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,935,846	729,722
預け金	15,303	12,101
売掛金	187	65,138
有価証券	—	1,000,000
商品及び製品	33,499	45,771
仕掛品	102	96
原材料及び貯蔵品	56,655	50,121
前払費用	73,554	59,850
未収入金	170,652	100,443
その他	8,324	7,138
流動資産合計	2,294,124	2,070,385
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,077,176	1,029,836
構築物（純額）	151,963	143,785
機械及び装置（純額）	9,667	8,547
車両運搬具（純額）	375	187
工具、器具及び備品（純額）	68,209	59,710
土地	320,641	320,641
リース資産（純額）	179,053	157,811
建設仮勘定	72,416	79,475
有形固定資産合計	1,879,503	1,799,996
無形固定資産		
ソフトウェア	19,524	17,492
その他	6,004	5,641
無形固定資産合計	25,529	23,133
投資その他の資産		
投資有価証券	35,415	35,893
長期貸付金	35,399	34,176
長期前払費用	53,881	56,033
差入保証金	254,542	254,510
繰延税金資産	278,071	284,052
その他	55,629	53,847
投資その他の資産合計	712,940	718,514
固定資産合計	2,617,973	2,541,644
資産合計	4,912,098	4,612,030

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	131,177	121,461
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	362,330	356,340
リース債務	56,387	52,255
未払金	229,535	217,880
未払費用	38,553	49,797
未払法人税等	29,235	25,542
未払消費税等	59,810	54,110
前受金	10,875	11,432
預り金	12,848	25,203
前受収益	5,696	6,369
賞与引当金	32,356	48,554
株主優待引当金	4,277	3,156
その他	407	378
流動負債合計	1,073,490	1,072,483
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	1,319,205	1,141,035
リース債務	165,715	140,943
長期未払金	115,070	115,070
資産除去債務	147,946	148,585
その他	12,259	10,837
固定負債合計	2,160,195	1,956,471
負債合計	3,233,686	3,028,954
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	654,931	654,931
資本剰余金	577,281	577,281
利益剰余金	447,371	351,703
自己株式	△147	△147
株主資本合計	1,679,436	1,583,768
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,024	△692
評価・換算差額等合計	△1,024	△692
純資産合計	1,678,412	1,583,075
負債純資産合計	4,912,098	4,612,030

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年8月1日 至2021年1月31日)
売上高	2,784,644	2,245,501
売上原価	680,795	560,910
売上総利益	2,103,848	1,684,591
販売費及び一般管理費	1,874,648	1,743,583
営業利益又は営業損失(△)	229,199	△58,992
営業外収益		
受取利息	267	230
受取配当金	630	505
不動産賃貸料	12,180	10,389
協力金収入	—	4,050
その他	4,038	3,740
営業外収益合計	17,115	18,915
営業外費用		
支払利息	2,604	3,559
不動産賃貸費用	9,818	8,965
上場関連費用	14,578	—
その他	6,986	792
営業外費用合計	33,986	13,317
経常利益又は経常損失(△)	212,328	△53,394
特別損失		
固定資産除却損	—	188
特別損失合計	—	188
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	212,328	△53,582
法人税、住民税及び事業税	86,263	10,687
法人税等調整額	△11,492	△6,127
法人税等合計	74,771	4,560
四半期純利益又は四半期純損失(△)	137,557	△58,143



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	212,328	△53,582
減価償却費	95,268	104,318
受取利息及び受取配当金	△897	△735
支払利息	2,604	3,559
固定資産除却損	—	188
売上債権の増減額(△は増加)	△4,351	△64,951
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,681	△5,732
仕入債務の増減額(△は減少)	41,564	△9,716
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,534	16,198
その他	43,649	54,061
小計	397,017	43,607
利息及び配当金の受取額	988	515
利息の支払額	△2,907	△3,554
法人税等の支払額	△35,628	△12,279
法人税等の還付額	—	35,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	359,470	64,028
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	5,000
有形固定資産の取得による支出	△295,877	△22,681
無形固定資産の取得による支出	△1,120	△600
有価証券の取得による支出	—	△1,000,000
貸付金の回収による収入	2,440	503
敷金及び保証金の回収による収入	918	80
その他	52	△152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△293,586	△1,017,851
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△99,612	△184,160
株式の発行による収入	741,542	—
リース債務の返済による支出	△24,890	△28,904
配当金の支払額	△24,220	△37,438
財務活動によるキャッシュ・フロー	592,819	△250,502
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	658,703	△1,204,325
現金及び現金同等物の期首残高	649,695	1,871,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,308,398	666,824

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。